

「開運日和」に炎舞う



一粒万倍日にもあたる1月9日、田谷町(小川初男区長)で恒例の「大とんど」が行われました。町主催の行事としては、1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災の数日前に第1回目が開催されました。その後も無病息災と地域の平穏を祈念し、この間コロナ禍の下でも継続して29回目を迎えました。

作業の第一は、とんどの支柱として町内竹林から選び抜いた孟宗竹(全長20.1m)の立ち上げです。相当な重量で、風のある日などは困難を極めますが、当日その時間帯は無風。それでも竹の本体に5~6人、四方からの針金番線に8~10人参加して、調整しながら天まで届けと力を合わせます。

次の作業は、支柱の周囲に枯柴数十束や大小の無数の間伐材を運び、しっかりと積み上げていきます。中央の柴に点火できるように、今年の恵方(南南東)からの火種の投入口の確保も大事です。数人で運ぶ木も少なくありません。これらの材料は町内有志によって、昨冬の内に町農業倉庫内などに準備されていたものです。縁の下の力持ちの方々の重みをずっしりと感じる作業です。

さらに、その周囲に当日切り出し、2台のトラックで何往復もした竹を立てかけます。まずは、笹枝を払った竹を、何度か針金で締めながら何層にも重ね、その上に笹枝で外周を覆います。高いところも長はしごを使って笹枝を差し込みます。最後に、荒縄で締めなおし外周を整えます。

いい天気にも恵まれましたが、それでも総勢35人で朝8時から午後1時過ぎまで5時間を超える大作業でした。堂々とした、外周20m、高さ20.1mの大とんどです。

完成からわずか1時間半後の午後3時には、八王子神社山本宮司の祝詞奏上の後、小川区長によって点火、もくもくとした白煙に100人を超える参加者から「おー」と声が上がります。

とんどの煙に乗って新年に訪れた年神様は、天上に帰っていかれるそうです。門松やしめ飾りを一緒に燃やして送るのです。またその火・煙・灰にも年神様のご加護があるそうです。

その後も大とんどは一晩中燃え続けました。本年がよい年でありますように。

(田谷町参加者)

今年も宇仁の朝市をよろしく

年末年始の12月31日と1月1日だけを休業した宇仁の朝市は、1月7日(土)のぼかば店で今年も元気に営業を開始しました。正月休み気分が抜けな中、2週間ぶりの関係者との再会でしたが、何かもっと期間が空いたような錯覚を覚えました。

当日は恒例によって“ぜんざい”のふるまいがありました。そうこうしているうちに、今度は“豚汁”の差し入れがあり、スタッフはもちろんお客さんもこれら2つのごちそうに舌鼓をうちました。ありがとうございました。

昨年紹介した短歌の『採れたてを 並べるまもなく 朝市の人気トマトは 売り切れごめん』のおいしい中玉トマトも初出荷され、即完売となりました。

今年も地域の皆さんに喜ばれる朝市を目指して活動しますのでご支援とご協力をよろしくお願いします。

(宇仁の朝市部会)



良い年になりそうな予感～大群のコウノトリ飛来～

1月17日(火)の早朝、コウノトリの大群が青野町のハザマ池に飛来しました。数えてみると池に13羽、空を飛んでいるのが1羽、合計14羽でした。今年に入ってから1～2羽飛来しているのを確認していましたが、前日の午後も数羽来ていて、そろりと立ち入ってカメラを構えた途端に飛び去ってしまいました。翌日早朝、大群が飛来しているとの情報を得、今度は慎重に低い姿勢でカメラを構えたら警戒心も薄れたのが、コウノトリはくちばしを池中に差し込んで一生懸命餌を漁っていました。シャッターチャンスを狙って30分ほど眺めていましたが、今までにないすばらしい写真が撮れました。

宇仁郷通信の締め切り日が近いなか、さて紙面を埋めるのにどうしようかと思案していた時でしたので、コウノトリがそれを察してくれたのでしょうか。

年始の大群のコウノトリ飛来で、今年も宇仁郷にとって良い年になりそうな予感がしました。



(情報部会)

笑顔が一番！～青野町子供会「クリスマス会」～



12月18日(日)、子ども達が楽しみにしていた青野町子供会『クリスマス会』がコロナ対策をして開催されました。事前に5年生と6年生が集まり、みんなで楽しく室内外で遊べるようにとクリスマス会の企画会議を行い、当日も運営・進行の全てを自分達の手でやってくれました。

クリスマス会の当日は、朝から強い寒気が流れ込んだためにとっても寒い1日となりましたが、いつも遊ばせてもらっている丸山公園を安全に利用するため6年生がクイズ形式で分かりやすく下級生へ説明し、町役員さんと一緒に遊具の安全点検や草引きなどのお掃除をしました。その後は、各学年の枠を超えた縦の仲間(異年齢)と仲良く一緒にカルタとりやドッチボール、おにごっこ、イントロクイズなどをして大変盛り上がりました。

また、宝探しでは、公園内に隠された宝(番号を書いた紙)をアッチこっち走り周り必死になって探し出し、見つけた宝とプレゼントを交換しました。クリスマス会のフィナーレでは、真っ暗になった公園に仕掛け花火がパーッと勢い良く吹き出しながら、キラキラした星形の火花がナイアガラのように落ちると歓声が上がリ、きれいな冬の花火に感動しました。

(青野町子供会)

宇仁郷のあゆみ 第二章 宇仁郷まちづくり協議会の群像達⑪

宇仁郷まちづくり協議会

3. 宇仁ふれあい館がオープン

平成23年3月26日、宇仁郷まちづくり協議会の活動拠点が八王子会館の隣に完成し加西市総務部仲村次長他関係者が見守る中、命名式が執り行われました。

この建物は「県民交流広場事業」に応募し1,300万円の事業費が認可され、建物は850万円で神田組が施工し、残額450万円は調度品の購入と部会の運営費に充当しました。

式典は荒田正克副館長の司会進行で始まり、加西市自治参画課の福永課長が「この建物が地域の交流拠点となることを期待し」宇仁ふれあい館「と命名します」と宣言されました。銘板の除幕は福永課長、丸岡肇会長、志方裕子、岡本優館長、稲木秀子女性グループ代表5人が除幕の綱を引き、岡本優館長が宇仁ふれあい館活用の抱負を語り、稲木秀子女性グループ代表が「ふれあい喫茶」開設構想を述べ、最後に女性コーラス「歌声広場」の宇仁妙子代表が式典の閉幕を告げ「宇仁ふれあい館」がオープンしました。

